



国立市総合基本計画 (基本構想・基本計画) ってなんだろう

国立市
政策経営部政策経営課



- 総合基本計画とは
- 第5期基本構想の構造
- I. 第5期基本構想の策定にあたって
- II. 基本理念
- III. まちづくりの目標
- IV. 政策の視点
- V. まちづくりの政策
- 基本計画の構造・見方
- まとめ



総合基本計画

基本構想（12年間）

第1次基本計画（8年間）

第2次基本計画（8年間）

第3次基本計画
（4年間）

実施計画（4年間）

⇒ 毎年度ローリング



1

まちの理想の姿(まちづくりの目標)を
描き出すもの

2

目標を行政と市民が共有し、
協力して実現を目指すための計画

3

国立市の最上位計画で、
行政・財政の運営指針

基本計画・実施計画とは



基本 計画

基本構想において掲げる将来像等を実現させるため、その施策や根幹的事業を示すもの。基本構想の下位に位置づけられる。

実施 計画

基本計画に基づく施策を4箇年でどのように実施していくか、具体的に事業内容を明らかにし、予算編成の指針とするもの。社会経済情勢の変化等に迅速に対応するため、毎年度見直しを行う。

総合基本計画とは ～なぜ作る必要があるの？～



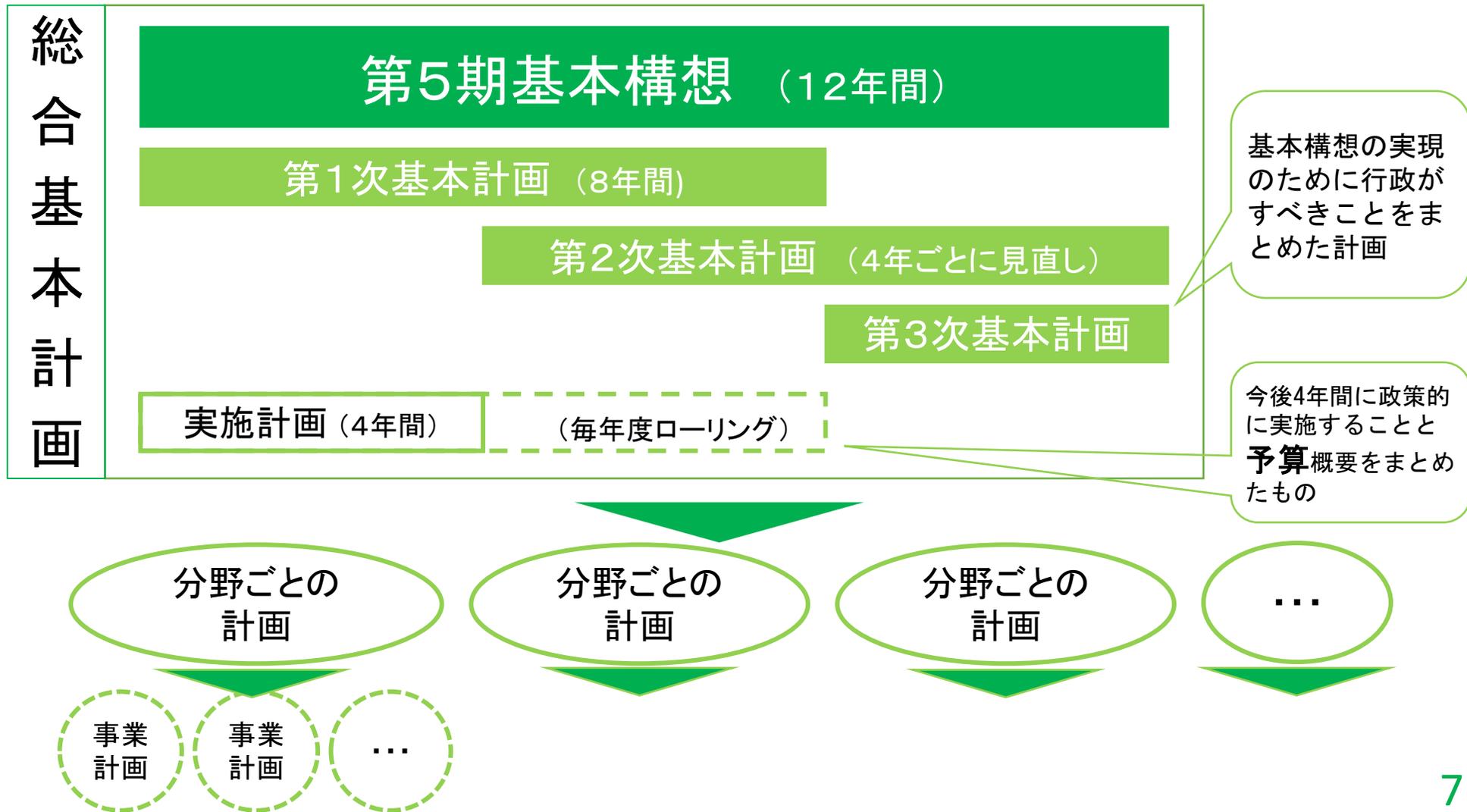
戦略性

国立市が将来にわたって魅力的なまちであり続けるための戦略が必要。

中・長期性

情勢の変化に対し、中長期的な目標を見据えた対応をとる必要がある。

総合基本計画とは ～ほかの計画との関係～



第5期基本構想の構造



I. 第5期基本構想の策定にあたって

策定にあたって踏まえるべき状況を整理

国立市の特性
(歴史・文化・地理)

社会経済情勢の展望

II. まちづくりの基本理念

まちづくりの根幹となる基本理念を整理

基本理念

まちづくりの担い手

都市像

III. まちづくりの目標

I・IIの内容を踏まえた、今後12年間のまちづくりの目標

まちづくりの目標

市民と行政の連携

土地利用構想

IV. 政策の視点

今後のまちづくりにおいて注力すべき事業を見極める分野横断的な視点

目標実現に向けて重点的に取り組むべき政策群

V. まちづくりの政策

まちづくりの目標の実現のための施策を分野別に整理。その方向性を示す。



I. 第5期基本構想の策定にあたって

I. 第5期基本構想の策定にあたって

策定にあたって踏まえるべき状況を整理

国立市の特性
(歴史・文化・地理)

社会経済情勢の展望

II. まちづくりの基本理念

まちづくりの根幹となる基本理念を整理

基本理念

まちづくりの担い手

都市像

III. まちづくりの目標

I・IIの内容を踏まえた、今後12年間のまちづくりの目標

まちづくりの目標

市民と行政の連携

土地利用構想

IV. 政策の視点

今後のまちづくりにおいて注力すべき事業を見極める分野横断的な視点

目標実現に向けて重点的に取り組むべき政策群

V. まちづくりの政策

まちづくりの目標の実現のための施策を分野別に整理。その方向性を示す。



I. 第5期基本構想の策定にあたって

策定にあたって踏まえるべき状況を整理

国立市の特性(歴史・文化・地理等)

- 市域の1/3は文教地区
- 昨今の人口推移は横ばい
- 地価は武蔵野市、三鷹市、調布市に次ぐ4番目の水準
＝多摩地域有数の閑静な住宅街として、高いブランド力

社会経済情勢の展望

- 超少子高齢社会・人口減少社会の本格的な到来
 - 都市インフラの老朽化、建替え等に多額の費用
＝すべての更新は困難
 - JR中央線連続立体交差事業の完了
→地域の一体化と活性化が期待される
 - 富士見台地域の住宅団地の老朽化
- ➡若い世代の定住促進
 - ➡ストックマネジメントが必要
 - ➡国立駅前の活性化をまち全体へ
 - ➡団地再生が必要



Ⅱ. まちづくりの基本理念

I. 第5期基本構想の策定にあたって

策定にあたって踏まえるべき状況を整理

国立市の特性
(歴史・文化・地理)

社会経済情勢の展望

Ⅱ. まちづくりの基本理念

まちづくりの根幹となる基本理念を整理

基本理念

まちづくりの担い手

都市像

Ⅲ. まちづくりの目標

I・Ⅱの内容を踏まえた、今後12年間のまちづくりの目標

まちづくりの目標

市民と行政の連携

土地利用構想

Ⅳ. 政策の視点

今後のまちづくりにおいて注力すべき事業を見極める分野横断的な視点

目標実現に向けて重点的に取り組むべき政策群

Ⅴ. まちづくりの政策

まちづくりの目標の実現のための施策を分野別に整理。その方向性を示す。

Ⅱ. まちづくりの基本理念



まちづくりの根幹となる基本理念を整理

基本理念

人間を大切にする

- 国立市の**最も重要な資源**は、市民をはじめ、国立市で働く人、学ぶ人、訪れる人など国立市にかかわる**すべての人間**
- すべての人たちの命・尊厳・生活を大切にし、互いに尊重し合い、いきいきと活動しやすい環境を作ることこそ、**まちづくりの本旨**であり、核
- 「人間を大切にする」という国立市のまちづくりの基本理念は、40年前に策定された第一期基本構想から**今日まで一貫して引き継がれている。**



Ⅱ. まちづくりの基本理念

まちづくりの担い手

- 思いやりを持ち、それぞれの違いを認めあい支え合う市民
- 平和を愛し、豊かなまちと文化を創造し、まちとともに歩む市民
- 自然に学び、自然を守り、自然とともに生きる市民

- まちづくりの担い手は、まちへの愛着と誇りと人間力を持った市民一人ひとり
- 市民一人ひとりが、自ら主体的にまちづくりに携わり、まちも、ひとも、ともに成長し続けていくことが大切
- **ソーシャルインクルージョンの理念**のもと、すべての市民があたりまえに暮らし、互いに尊重し合い、協調を図っていくことが重要
- まちづくりの担い手である**市民への期待を込めて**、市民像を以上のように設定



都市像

文教都市くにたち

- 「文教都市くにたち」という言葉は、周辺の都市を含めて広く知られている
- 国立市を象徴する言葉
- 都市像を、引き続き「文教都市くにたち」とし、そのさらなる発展を目指す



Ⅲ. まちづくりの目標

Ⅰ. 第5期基本構想の策定にあたって

策定にあたって踏まえるべき状況を整理

国立市の特性
(歴史・文化・地理)

社会経済情勢の展望

Ⅱ. まちづくりの基本理念

まちづくりの根幹となる基本理念を整理

基本理念

まちづくりの担い手

都市像

Ⅲ. まちづくりの目標

Ⅰ・Ⅱの内容を踏まえた、今後12年間のまちづくりの目標

まちづくりの目標

市民と行政の連携

土地利用構想

Ⅳ. 政策の視点

今後のまちづくりにおいて注力すべき事業を見極める分野横断的な視点

目標実現に向けて重点的に取り組むべき政策群

Ⅴ. まちづくりの政策

まちづくりの目標の実現のための施策を分野別に整理。その方向性を示す。

Ⅲ. まちづくりの目標



「Ⅰ. 第5期基本構想策定にあたって」「Ⅱ. まちづくりの基本理念」の内容を踏まえた、今後12年間のまちづくりの目標

まちづくりの目標

学び挑戦し続けるまち

ともに歩み続けるまち

つちか
培い育み続けるまち

文教都市くにたち

Ⅲ. まちづくりの目標



まちづくりの目標

学び挑戦し続けるまち	ともに歩み続けるまち	つちか 培い育み続けるまち
<ul style="list-style-type: none">• 教育機関・市民などの知的地域資源を最大限に活用• 産学官の連携による価値の創造や先駆的な取組に挑戦し都市の活力を増す• 老若男女が学び続け、それぞれの挑戦を通じて充実した日々を送れるまちを目指す	<ul style="list-style-type: none">• 市民同士の支えあいのなかで安心・安全な生活を担保• ソーシャルインクルージョンの理念をもって、多様性・寛容性を重視したまちづくりを市民とともに行っていく• 回遊性のある歩きたくなるまちを目指す	<ul style="list-style-type: none">• 子育て・子育てしやすい環境づくり• 人と人とのつながりを作る、絆を育むといった思い• 先人の残してくれた街並みや伝統、自然を守り、さらに発展させていきたい• 商工業・農業の育成• 「くにたち文化」を培っていきたい
<ul style="list-style-type: none">• 国立市は文教都市であるという誇りを今一度認識• 大人も子どもも市に誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思う、だれもが安心して暮せるまち• このまちで成長した市民や子どもたちが、さらにこのまちを発展させていく好循環を生み出していくことで、国立市が将来にわたって魅力的であり続けるまちに		



Ⅲ. まちづくりの目標

市民と行政の連携

- 国立市は、(これまでも) **市民自らが作り上げ、守り育ててきたまち**
- (だからこそ)まちづくりの目標実現に向けて、**相互の信頼と対等な関係性の下、**連携・協働して新しいまちづくりを試行し、創造していくことが不可欠
- まちづくりの**目標を共有し**、力を合わせてその実現を目指す

土地利用構想

土地は、市民の生活や生産のための限られた貴重な財産として、将来にわたり有効に活用していく必要がある。地域の特性を考慮しながら「まちづくりの目標」の実現に向けて、8.15km²の利活用を図る。

- 地域の特徴を活かしつつ、まち全体として調和のとれた「文教都市くにたち」を目指す
- **富士見台地域**を、まちの中核となるベルト地帯として再度活性化していくことを期間中の**重要課題と位置づけ**
- 国立駅周辺のまちづくりを進め、市民に愛されている旧国立駅舎の再築を実現。
- これらの地域の活性化を市全体の活力創出へつなげる



IV. 政策の視点

I. 第5期基本構想の策定にあたって

策定にあたって踏まえるべき状況を整理

国立市の特性
(歴史・文化・地理)

社会経済情勢の展望

II. まちづくりの基本理念

まちづくりの根幹となる基本理念を整理

基本理念

まちづくりの担い手

都市像

III. まちづくりの目標

I・IIの内容を踏まえた、今後12年間のまちづくりの目標

まちづくりの目標

市民と行政の連携

土地利用構想

IV. 政策の視点

今後のまちづくりにおいて注力すべき事業を見極める分野横断的な視点

目標実現に向けて重点的に取り組むべき政策群

V. まちづくりの政策

まちづくりの目標の実現のための施策を分野別に整理。その方向性を示す。

IV. 政策の視点



今後のまちづくりにおいて注力すべき事業を見極める分野横断的な視点
基本計画・実施計画でも、「重点項目」として示す。

次世代の育成

- 文教都市くにたちにとっては、子育て支援や教育施策の充実は、まちづくりの核
- 人口減少を食い止めるため、また高齢者を支えていくため、今まで以上に「次世代育成」を核としたまちづくりが必要

安心・安全の確保

- 安心と安全は、全ての基本であり、全市民に共通した願い
- 安心・安全なまちであってこそ、まちに活気を与える若者も、子育て世代も、高齢者も「住みたい」「住み続けたい」まちが実現

国立ブランドの向上

- これまでの内外から評価された「国立ブランド」を守り育てていくとともに、効果的に市外へ発信
- 市民にとっても、市の良さの再発見、それによる新しい価値の創出につながる
- さらに愛着や誇りの持てる「我がまち」へ

IV. 政策の視点



次世代の育成

まちづくりの目標

学び挑戦し続けるまち

ともに歩み続けるまち

培い育み続けるまち

文教都市くにたち

安心・安全の確保

国立ブランドの向上

この3つの政策の視点は、相互に関連しあい、まちづくりの目標の実現を支えていくもの。
この視点をもって、分野別に整理された「まちづくりの政策」を横断的に捉え直し、今後の市が注力すべき内容を見極めて実施。



V. まちづくりの政策

I. 第5期基本構想の策定にあたって

策定にあたって踏まえるべき状況を整理

国立市の特性
(歴史・文化・地理)

社会経済情勢の展望

II. まちづくりの基本理念

まちづくりの根幹となる基本理念を整理

基本理念

まちづくりの担い手

都市像

III. まちづくりの目標

I・IIの内容を踏まえた、今後12年間のまちづくりの目標

まちづくりの目標

市民と行政の連携

土地利用構想

IV. 政策の視点

今後のまちづくりにおいて注力すべき事業を見極める分野横断的な視点

目標実現に向けて重点的に取り組むべき政策群

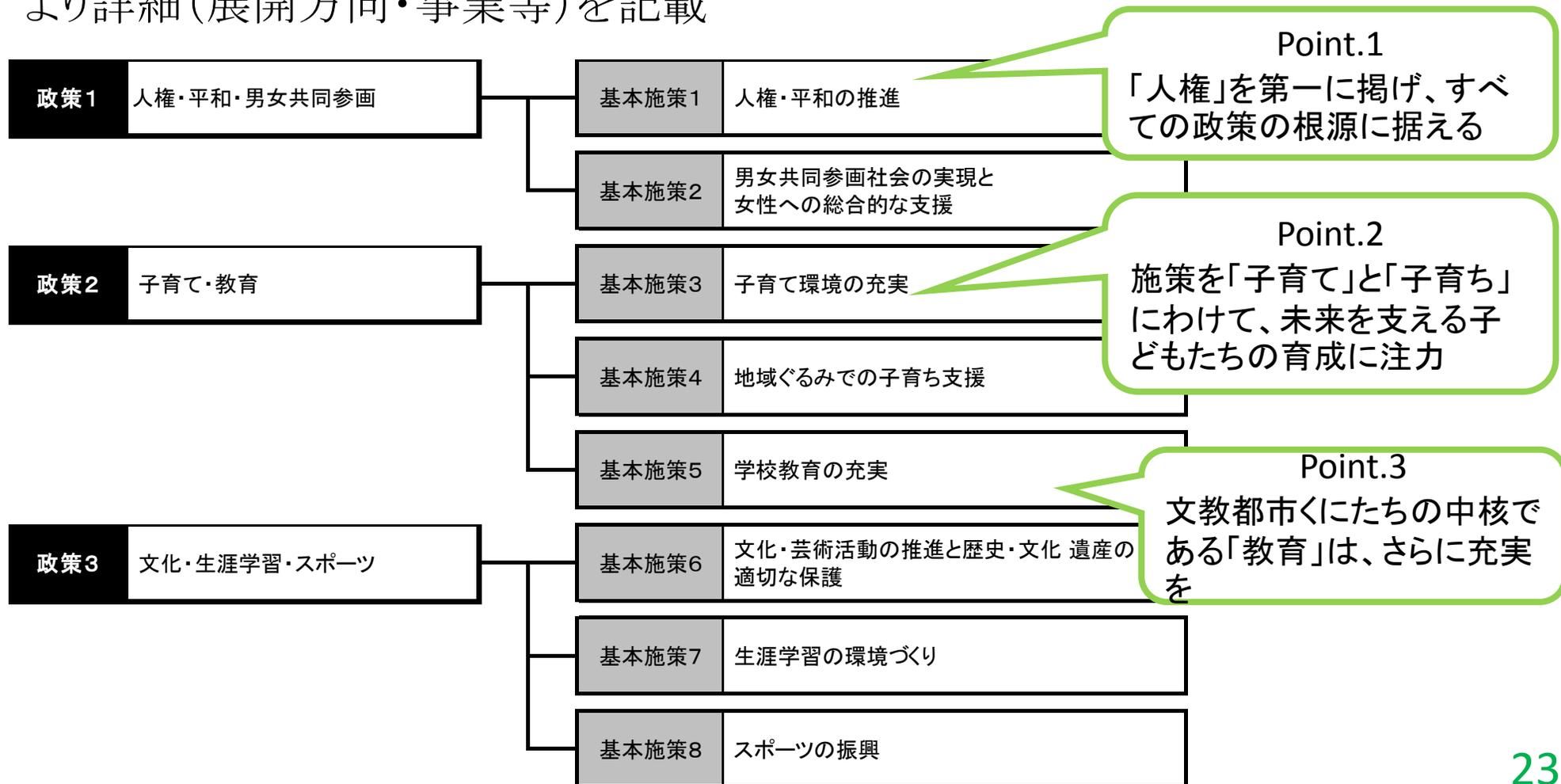
V. まちづくりの政策

まちづくりの目標の実現のための施策を分野別に整理。その方向性を示す。

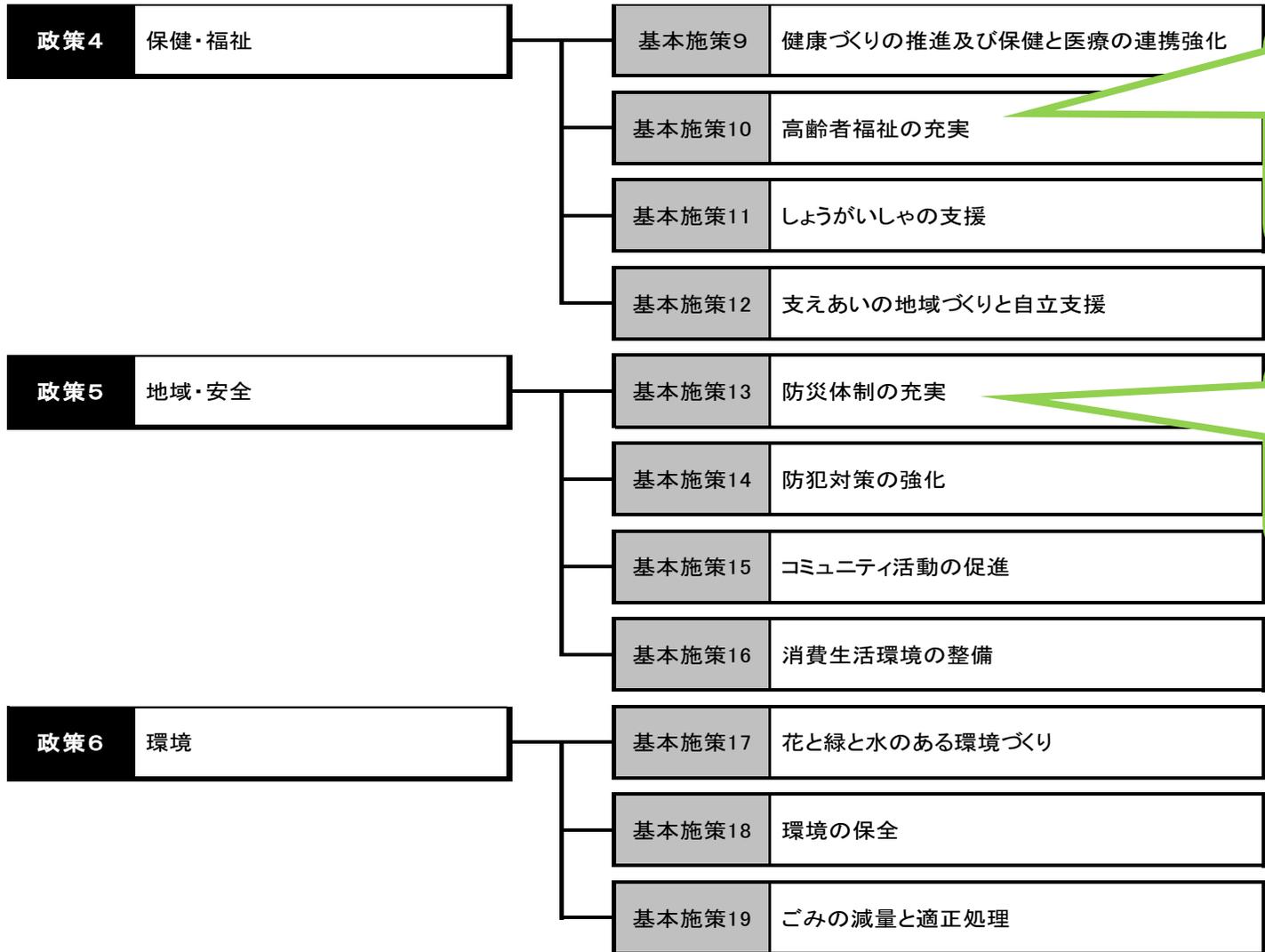
IV. まちづくりの政策



まちづくりの目標の実現のための施策を分野別に整理。その方向性を示す。
基本計画・実施計画も同じ体系で整理し、構想の方向性に沿って、
より詳細(展開方向・事業等)を記載



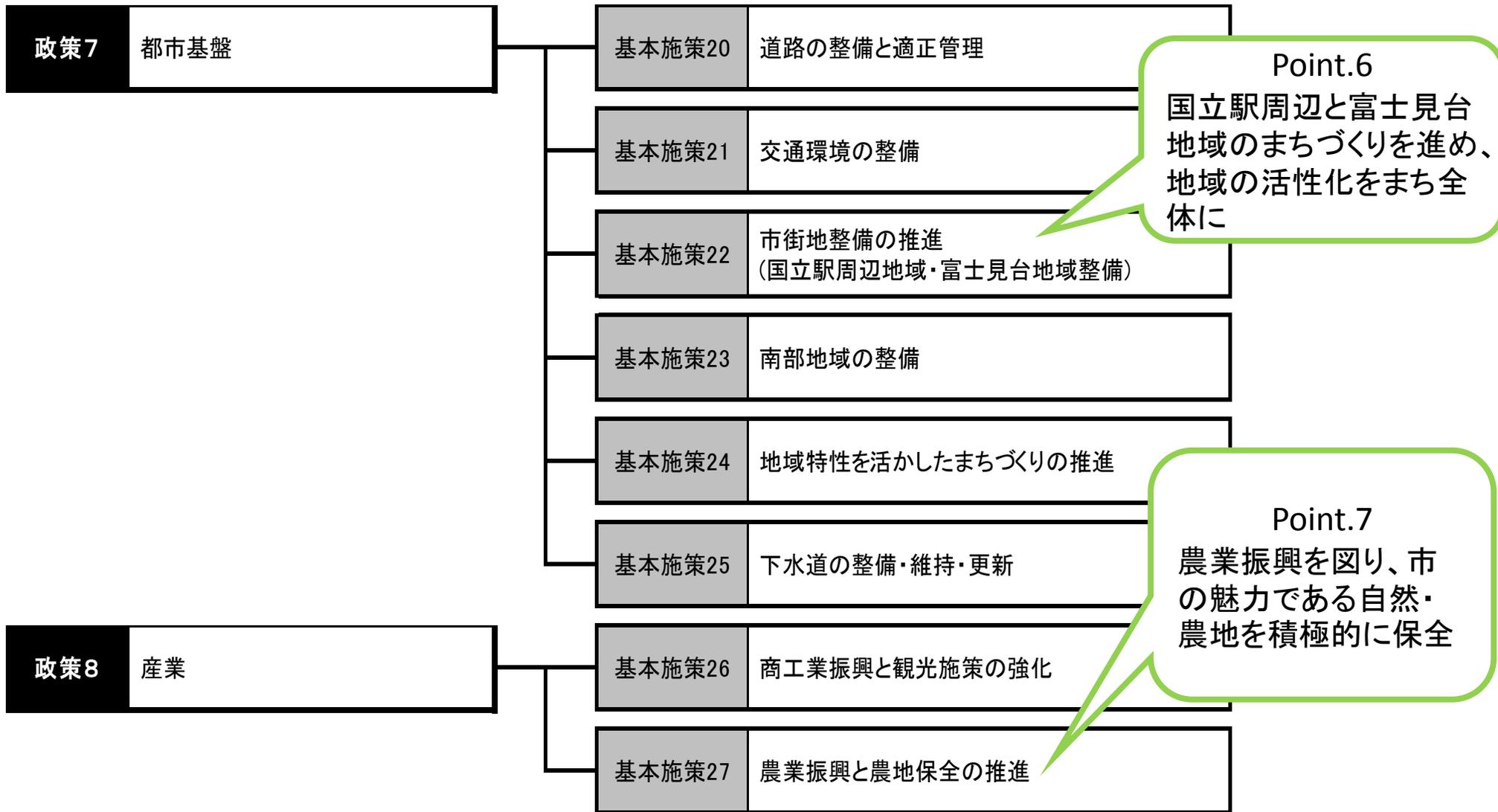
IV. まちづくりの政策



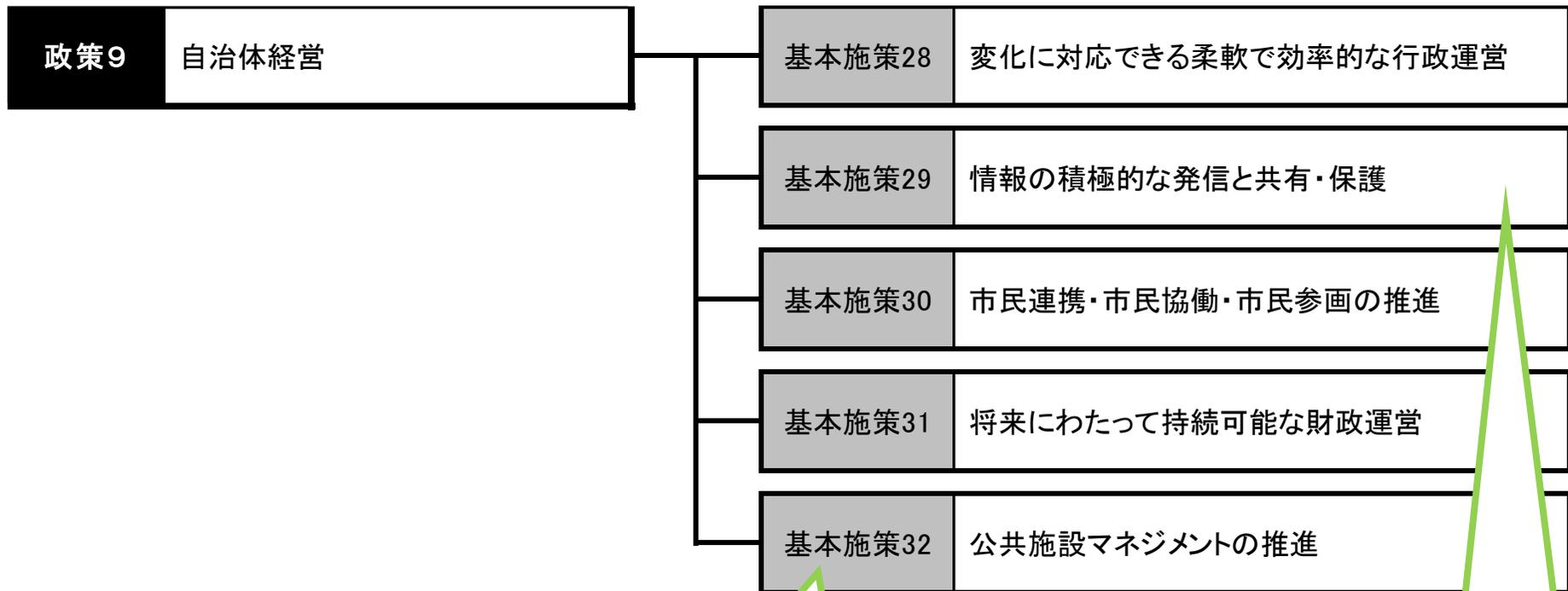
Point.4
健康寿命を延ばし、元気な高齢者に、地域社会の支え手になっていただけるよう施策展開

Point.5
安心・安全のまちづくりを、市民の皆様とともに実現

IV. まちづくりの政策



IV. まちづくりの政策



Point.9
「ストックマネジメント」を
施策に位置付け、推進

Point.8
市の魅力を内外に伝える
情報発信に注力

基本計画の構造・見方



【政策 1】人権・平和・男女共同参画

基本施策 1 人権・平和の推進

【施策統括課：市長室】

<現状と課題>

- 国立市では、平成 26(2014)年 4 月に新たに市長室を設置し、市政の根幹に人権・平和・男女共同参画の理念を捉え、市民や関係団体・機関とも緊密に連携しながら、人権行政の確立に向けて施策を推進しています。
- 現在、国立市では市民の人権を守り、安心・安全のまちづくりを推進するため、本市に、オンブズマン¹制度の創設について審議会を設置し検討を進めています。
- 人権施策については、法務省から委嘱された 3 名の人権擁護委員による「人権身の上相談」や、人権メッセージ発表会、全国中学生人権作文コンテスト、人権の花運動、人権教室、その他人権週間を中心に各種啓発活動を実施しています。
- 人権施策を体系的かつ継続的に推進し、市民一人ひとりの人権が尊重され、しょうがい、同和問題、国籍等によるあらゆる差別のない地域社会を実現するため、(仮称)国立市人権施策推進指針などの中長期的な方針を策定する必要があります。
- 新しい世紀を迎えるにあたり、平和への意思を発信するため、平成 12(2000)年 6 月に「国立市平和都市宣言」を制定しています。また、その 10 年後にあたる平成 22(2010)年には、「平和市長会議²」に加盟し、国内外の都市との連携を図りながら、平和都市宣言の理念である非戦非核の実現に取り組んでいます。
- また、戦後 70 年を迎えるにあたり、戦争や原爆の悲惨さや平和の大切さを語り継ぐとともに、多くの市民に「日常における平和」について考える機会を提供するため、市民団体と連携して新たに「くにたち原爆体験伝承者育成プロジェクト」を開始しました。

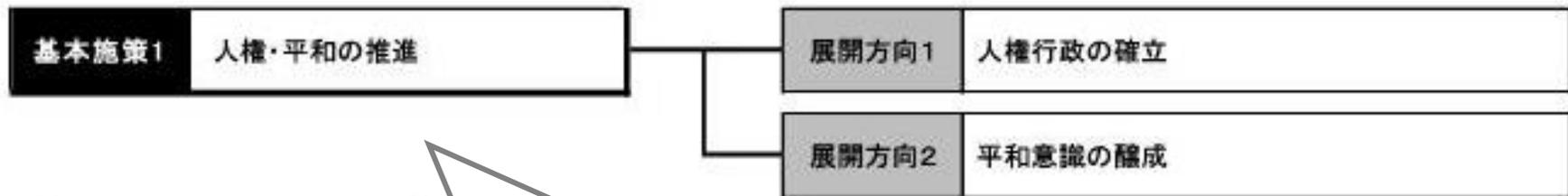
施策に関わる近年の社会経済情勢や国・東京都の政策動向、国立市の現状などを踏まえ、今後のまちづくりに向けた主要課題を示しています。



基本計画の構造・見方

<施策の目的及び体系>

だれもが互いに人権を尊重し合い、また、多様性を認めあうことにより、あらゆる差別のない寛容な地域社会を目指すとともに、平和の大切さを発信・継承し、平和意識の醸成を図ります。



施策の推進によって目指すべきまちの姿と、施策を構成する展開方向(基本的取組)の体系を示しています。

基本計画の構造・見方



<展開方向 1：人権行政の確立>

【目的】

ソーシャル・インクルージョン³の理念に基づき、市民が互いに人権について考え、尊重し合い、全ての市民の人権が擁護されて自分らしく自由に暮らせる、あらゆる差別のない社会を目指します。

【手段】

- ◆人権を取り巻く国内外の動向を注視しながら、インターネットによる人権侵害等の新しい人権課題を含めた個別の人権課題の解決に向けて、意識啓発等の取組を着実に進めます。
- ◆人権侵害を救済するため、オンブズマン制度の創設に向けた取組を推進します。
- ◆人権擁護の意識が広く行政に行き渡るよう、市職員に対する憲法や人権に関する研修を推進し、人権施策に関する基本方針を策定します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
市は人権を尊重した行政活動を行っていると思う市民の割合	%	国立市市民意識調査	46.7 (H26年)	51.0	55.0

施策を構成する展開方向(基本的取組)ごとに、取組の目的を示しています。

施策を構成する展開方向(基本的取組)ごとに、目的の実現に向けた具体的な手段を示しています。

施策を構成する展開方向(基本的取組)ごとに、事業の実施による成果を把握するための指標とその現状値・目標値を示しています。

I. 第5期基本構想の策定にあたって

策定にあたって踏まえるべき状況を整理

国立市の特性

社会経済情勢の展望

超少子高齢社会・人口減少社会の本格的到来

II. まちづくりの基本理念

まちづくりの根幹となる基本理念を整理

基本理念

「人間を大切にする」

まちづくりの担い手

市民への期待を込めて

都市像

「文教都市くにたち」

III. まちづくりの目標

I・IIの内容を踏まえた、今後12年間のまちづくりの目標

まちづくりの目標

学び挑戦し続けるまち
ともに歩み続けるまち
培い育み続けるまち
文教都市くにたち

市民と行政の連携

目標を共有し、
ともに実現を目指す

土地利用構想

- ・まち全体として文教都市をめざす
- ・富士見台地域の活性化が重点課題

IV. 政策の視点

今後のまちづくりにおいて注力すべき事業を見極める視点

次世代の育成

安心・安全の確保

国立ブランドの向上

分野別に整理された「まちづくりの政策」を横断的に捉え直す

V. まちづくりの政策

まちづくりの目標の実現のための施策を分野別に整理、その方向性を示す



基本計画

基本構想において掲げる将来像等を実現させるため、その施策や根幹的事業を示すもの。基本構想の下位に位置づけられる。

実施計画

基本計画に基づく施策を4箇年でどのように実施していくか、具体的に事業内容を明らかにし、予算編成の指針とするもの。社会経済情勢の変化等に迅速に対応するため、毎年度見直しを行う。

基本構想と
○重点項目
(政策の視点)
○政策体系
(まちづくりの政策)
を共有